DISCLOSURE

組合の現況

上半期ディスクロージャー

令和8年8月末現在
令和8年3月1日～令和8年8月31日

地区別総代会議／秋の地区別座談会資料

夢ある未来へ
人とともに、街とともに、大地とともに…
JAあつぎ

ＪＡ綱領

― わたしたちＪＡのめざすもの ―

わたしたちＪＡの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

１．地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。

１．環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。

１．ＪＡへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。

１．自主・自立と民主的運営の基本に立ち、ＪＡを健全に経営し信頼を高めよう。

１．協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

目　　次

ごあいさつ …… 1
上半期事業経過 …… 2
トピックス　上半期のトピックス …… 3
組織の概況　組合員の概況 …… 4
　　役職員の概況 …… 5
事業の概況　指導事業 …… 6
　　販売事業 …… 9
　　購買事業 …… 10
　　金融事業 …… 11
　　共済事業 …… 13
　　総合相談事業 …… 16
　　高齢者福祉事業・葬祭事業・組合員組織対策 …… 17
仮決算の状況　貸借対照表・損益計算書 …… 18
　　農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況 … 19
　　単体自己資本比率・主要勘定の状況・有価証券時価情報 …… 20
自己改革の実践計画　取組報告 …… 21
地域貢献活動 …… 22
厚農商事株式会社営業報告 …… 27

■農業協同組合においては、中間決算は法定化されていませんが、当組合の内部規定に基づき仮決算を実施し、自主的に開示するものです。

■この資料において記載した金額は、表示単位未満を切り捨て表示していますので、合計と一致しない場合があります。なお、金額は、表示単位未満のものは「０」で表示しています。

ごあいさつ



組合員の皆さまには、日ごろよりＪＡの各事業や活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、各地の豪雨や地震をはじめとする大規模自然災害により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申しあげます。一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

現在、農業・ＪＡを取り巻く環境は、少子高齢化による農業人口の減少に加え、国際情勢に起因するエネルギー価格の高止まりや物価高騰が続いています。また、日銀による政策金利の一層の引き上げによる金融・経済環境の変化への対応や食料安全保障の強化が求められる一方で、米政策の転換、国際的な市場開放への懸念など地域農業の将来を左右する重要な局面を迎えています。

こうした状況下、ＪＡあつぎでは、厚木市都市農業支援センターとの連携をさらに強め、営農指導員を中心として生産者への積極的な訪問活動を実施することで、地域農業の維持・発展に取り組んでいます。あわせて、総合事業の機能を最大限に発揮し、組合員・利用者の多様なニーズに応えることで、事業利用の拡大と経営基盤の強化を図っています。

令和８年度は「第17次協同活動強化運動ＪＡあつぎ３か年プラン」の初年度にあたります。組合員との徹底した対話に基づく自己改革を実践するとともに、食と農を通じて人々の生活に寄り添いながら、組合員とともに魅力ある地域づくりをすすめ、豊かなくらしと農業の実現を目指して実効性ある取り組みを推進してまいります。

また、本年５月の通常総代会においては、組合員皆さまのご理解のもと、ＪＡ県央愛川との合併を決議し、ＪＡあつぎは11月１日から新たな体制でスタートいたします。この合併は、厚木・愛川・清川の地域の強みを最大限に活かした、農業生産力とブランド力の向上、また、協同の仲間が増え、力を結集することによる、組織・事業・経営基盤の強化を目的としています。合併後は、ＪＡあつぎの組合員の営農とくらしがより一層豊かなものとなることを目指し、早期に経営管理機能を整えるとともに、業務の効率化を図り、ＪＡの総合事業を将来にわたり安定的に提供できる体制の構築に取り組んでまいります。

これからも、ＪＡあつぎは組合員と地域の皆さまに一層信頼され、愛されるＪＡを目指し、「農業を軸とする地域に根差した協同組合」としての役割を誠実に果たしてまいります。組合員の皆さまにおかれましては、引き続き組合運動にご参加賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

厚木市農業協同組合

代表理事組合長　大矢和人

上半期事業経過

主な行事		
3月	10日	農業塾開講式
	3～14日	営農座談会
	11日	夢未市・グリーンセンター 出荷者大会
	12日	第36回女性部協議会総会
		助け合い活動すずしろ総会
	23日	春期農業機械整備会 （4月3日まで）
4月	9日	第63回青壮年部通常総会
	18日	第69回生産組合長会 通常総会
	28日	合併契約調印式
5月	1日	第52回女性部長大会・ 家の光大会
	7日	資産保全部会通常役員総会
	8日	青色申告部会通常役員総会
	11日	法人部会通常役員総会
	15～20日	合併組合員説明会
	20・21日	地区別総代会議
	23日	第63回通常総代会

主な行事		
6月	7日	第50回清川地区 農業まつり
	13日	親子夢未Kidsスクール 開校式
	9～30日	すずしろいきいきクラブ
	27日～	水稲追肥時期現地検討会 （7月29日まで）
7月	2日	女性部文化交流会
	13日	女性大学「夢未スクール」 開校式
	10～24日	地区別総代会議
	15・22日	各地区納涼盆踊り大会
	27日～	秋期農業機械整備会 （8月28日まで）
8月	11日	第11回 ＪＡあつぎカップ 少年野球大会開会式
	17日	第56回 厚木市農業まつり味覚祭 果実持寄品評会 (梨の部)
	20日	農林施策要請･農林予算要望 (厚木市・清川村)
	21日	第56回 厚木市農業まつり味覚祭 果実持寄品評会 (ブドウの部)
	24日～	水稲収穫時期現地検討会 （9月2日まで）
	25日	農業塾閉講式

トピックス

■上半期のトピックス

地域の強みを生かした合併へ





ＪＡあつぎとＪＡ県央愛川は、組合員の営農とくらしを一層豊かなものとするとともに、将来にわたる総合事業の提供と経営の安定を図ることを目的に、合併に向けて取り組みを進めています。

４月28日の「合併契約調印式」では、県中央会代表理事会長の立ち会いのもと、両ＪＡの組合長が合併の目的や契約内容を確認し、合併契約書への調印を行いました。５月23日には、第63回通常総代会において合併に関する議案が賛成多数で承認されました。同日、ＪＡ県央愛川の総代会においても同様に承認されたことで、両ＪＡの合併が正式に決定し、11月１日から新体制へ移行します。

今後は、両地域の個性と特色を活かした農業振興および事業活動を展開し、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」としての使命を誠実に果たしてまいります。

ＪＡサテライトプラスを新たに導入



ＪＡあつぎは、組合員・地域住民とのさらなるつながり強化を目的に、「ＪＡサテライトプラス」を導入しました。本サービスは一般社団法人家の光協会が提供する体験型動画講座で、健康づくりや教養などに関する多彩なプログラムを取り揃えています。

７月に実施した「レジンアクセサリー講習会」では、細部まで鮮明な映像による丁寧な解説が好評を博し、デジタル技術に触れながら交流を楽しむ新たな場となりました。

親子で学ぶ「食」と「農」



ＪＡあつぎでは、次世代を担う子供たちとその保護者に「食」と「農」の大切さを伝え、地域農業への理解を深めてもらおうと、通年型食農教育事業「親子夢未Kidsスクール」を開校しています。

農業体験をはじめとする活動には、厚木市等による後援のほか、東京農業大学の学生がカリキュラムに協力するなど、地域一体となって子どもたちを支えています。

組織の概況

■組合員の概況

1．組合員の動き

（単位：人）

資格区分	前年度末	本年度増加	本年度減少	８月末現在
正組合員	4,051	17	59	4,009
准組合員	14,833	186	154	14,865
合　計	18,884	203	213	18,874

2．支所店別組合員・出資金の状況

（単位：人、千円）

支所店	組合員数	うち正組合員	うち准組合員	出資金額
本所	111	—	111	7,104
依知	1,333	390	943	232,482
荻野	2,316	554	1,762	315,101
睦合	2,673	474	2,199	264,967
小鮎	2,225	539	1,686	307,765
うち小鮎	1,648	474	1,174	279,479
うち宮の里	577	65	512	28,286
玉川	1,156	310	846	170,921
南毛利	2,769	492	2,277	288,418
相川	1,323	431	892	255,007
清川	674	242	432	93,828
愛甲	971	184	787	100,004
駅前	1,496	37	1,459	75,888
北	1,024	167	857	83,277
依知南	803	189	614	130,352
合計	18,874	4,009	14,865	2,325,114

3．総　代

（単位：人）

	前年度末	本年度退任	本年度就任	本年度減少	８月末現在
総代	504	—	—	2	502

■役職員の概況

1．役　　員

（単位：人）

区　　分	前年度末	本年度退任	本年度就任	8月末現在
理　　事	27	—	—	27
監　　事	5	—	—	5
合　　計	32	—	—	32

2．職　　員

（単位：人）

区　　分	前年度末	8月末現在			増　　減
			うち男	うち女	
管　理　職	81	81	66	15	—
一　般　職　員	263	264	124	140	1
計	344	345	190	155	1
嘱託・パート等	144	152	39	113	8
合　　計	488	497	229	268	9

事業の概況

■指導事業

1．営農指導事業

支所を基点とした営農指導員の出向く体制の充実を図り、農家所得の向上に努めました。販売農家や新規就農者への巡回指導を強化し、販売データや取引先からの情報に基づく農産物の作付け提案や肥料・農薬・生産資材の情報提供および活用提案を行うとともに、地区の特性に合わせた講習会の開催や種苗メーカーと連携した訪問活動を実施し、出荷拡大に向けた指導に取り組みました。

また、生産コストの低減に向けて、土壌診断を積極的に推進するとともに、食の安全・安心の確保のため、生産履歴記帳指導および残留農薬検査を継続して実施しました。

⑴　ファーマーズシステムの分析や取引先からの意見を参考に、販売農家へ出荷強化が必要な農産物に関する情報提供を行いました。

⑵　農産物の品質・生産力の向上による買取品目の増加を目指し、販売事業部門と連携した作付け指導を実施しました。

⑶　食の安全・安心を確保するため、生産履歴システムによる農薬散布履歴の点検を行いました。また、定期的に残留農薬検査を行い、検査した品目はすべて農薬不検出もしくは残留基準値以下の結果となりました。

⑷　水稲栽培講習会や水稲現地検討会を開催し、水稲の栽培方法や高温対策に関する指導、追肥時期・施肥量の検討を行いました。

⑸　水稲育苗センターでは、厚木市営農集団協議会の協力のもと、健苗の供給を行いました。

⑹　ライスセンターの円滑な運営を図るため、利用予定者に対して利用方法等の個別説明を行いました。

⑺　主要品目出荷拡大・出荷者増加のため栽培講習会を開催しました。

⑻　燃料価格高騰に対応し施設園芸の経営安定化を図るため、国が実施する「施設園芸セーフティネット構築事業」の参加に向けた支援を行いました。

水稲育苗センター取扱実績

（単位：箱、％）

	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
取扱箱数	43,000	42,927	43,461	99.8	98.8

２．地域農業対策事業

厚木市都市農業支援センターと連携し､新規就農者の相談・支援体制の強化を図るとともに、農業塾を開講することで担い手育成に努めました。

また、耕作放棄地・遊休農地を解消するため、農業機械レンタル事業を活用した農地利用促進や農作業受委託の拡充、鳥獣被害対策に積極的に取り組みました。

⑴　ニホンザル個体数調整については、行政と連携して対応しており、厚木市を起点とした群れの除去から３年が経過し、現在は個体数調整や他群の侵入を防ぐ追い払いを強化しています。しかし、市外の群れによる被害が発生し、侵入の常態化が懸念されています。また、シカ・イノシシの被害対策については、神奈川県猟友会厚木支部と連携し、箱わなやくくりわななどを設置するとともに、ハクビシン等の中型動物については、箱わなを貸し出し、農産物への被害防止に努めました。さらに、電気柵個人助成の申請支援やセンサーカメラの貸し出しにより、被害防止策の普及と効果的な防除対策の指導を行いました。

⑵　農業塾での新規就農者の育成や農業後継者・定年帰農者等の担い手育成に取り組むとともに、厚木市都市農業支援センターが実施する農家研修制度を通じた就農希望者支援により、担い手確保および新規就農者の受入れ体制の強化に取り組みました。

⑶　厚木市都市農業支援センターと連携し、農地を担い手に集約するため利用権設定を推進するとともに、耕作放棄地・遊休農地の利用促進を積極的に行い、農地の利用拡大に取り組みました。

⑷　農作業受委託では、新たにドローンによる作業の請負を開始し、作業効率の向上を図りました。あわせて、農業機械レンタル事業を通じて農地利用を促進し、担い手の農作業負担の軽減に取り組みました。

⑸　担い手支援のため、農地利用集積・獣害防護柵などの相談に対応しました。

⑹　農業労災保険の加入推進を積極的に実施し、加入者数の増加を図りました。

⑺　農家の老後生活の充実を図るため、農業者年金の加入促進に取り組みました。

⑻　厚木市による「認定農業者確保・育成事業」について、担い手が継続的に農業経営の拡大および効率化を図れるよう、制度の活用を推進しました。

３．食農教育事業

管内の児童をはじめとした地域住民を対象に食の大切さと食を支える地域農業・ＪＡの重要性についての理解促進を図るため、多様な食農教育活動に取り組みました。

⑴　管内の児童とその保護者が農業に触れ、食と農への学びを深める機会として、通年型食農教育「第17期親子夢未Kidsスクール」を開校し、田植え体験や農産物の収穫体験をはじめとした食農教育活動を実施しました。

⑵　管内小学校へＪＡグループの食農教育をすすめる子ども雑誌「ちゃぐりん」を寄贈しました。加えて、雑誌の読みどころやＪＡ事業に関する情報を掲載した「ちゃぐりんだより」を毎月１回発行・配布しました。

⑶　地産地消の推進に向けた食農教育活動として、地域住民を対象に地場農畜産物を活用した料理講習会を実施したほか、インスタグラムへのレシピ投稿を定期的に行いました。

⑷　管内の全小学生とその保護者に向けて「こどもグリーンだより」を発行・配布し、食と農に関する情報を発信しました。また、食農イベントの告知を紙面に掲載することで広く参加者を募集し、食農教育活動の充実につなげました。

４．生活指導事業

魅力的で主体的な女性部活動を展開し、健康で心豊かな生活を築くとともに、部員相互の絆を深めることで女性部活動の活性化に取り組みました。

⑴　女性部員の増員を目的に「１部会１人増員運動」に取り組むとともに、次世代部「Neoフレミズ」の加入促進に取り組みました。

⑵　女性部のさらなる活性化と、部員の声を女性部活動とＪＡ事業に反映するため、女性部座談会を開催し、意見聴取を行いました。

⑶　ＪＡ取扱商品の特徴や使い方をより深く理解するとともに、食を通じた健康増進を図ることを目的に各地区にて「お酢の料理講習会」を開催しました。

⑷　日頃の練習で培った成果を披露するとともに、心豊かな交流を通じて部員同士の親睦を深める場として、女性部文化交流会を開催しました。

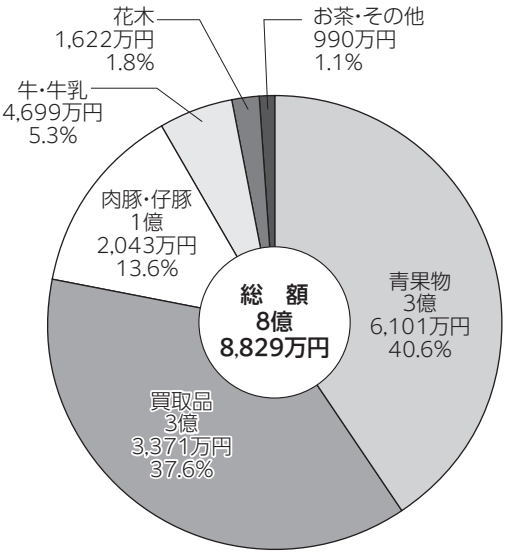
⑸　次世代を担うリーダーの育成を目的に、第18期女性大学「夢未スクール」を開校し、地域農業やＪＡ、女性部についての理解促進を行いました。

⑹　次世代対策の強化に向け、各地区にて次世代層を対象とした講習会などを企画・実施しました。

■販売事業

夢未市やグリーンセンターをはじめとした農産物直売所を拠点に、食と農の情報発信および新鮮で安全・安心な地場農畜産物の安定供給に努めました。

また、地域貢献の一環となる移動販売車「ゆめみちゃん号」の運行やＪＡあつぎアンテナショップ「Tomoni」内「夢未市出張販売所」の運営をはじめ、多様な販売方法を通じて、農家所得の向上に取り組みました。



さらに、６次化商品の販売強化をすすめるとともに、地元の大型量販店や県下ファーマーズマーケットを中心に地場農産物を定期的に販売し、供給量の底上げを図るなど、販路拡大と買取販売の取り組みを強化しました。その結果、上半期の販売実績は８億8,829万円となりました。

支所別販売品取扱実績

（単位：千円、％）

支　所	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
本　所	658,000	849,649	703,040	129.1	120.9
依　知	3,080	2,725	2,848	88.5	95.7
荻　野	5,540	5,154	5,819	93.0	88.6
睦　合	1,610	1,157	1,532	71.9	75.5
小　鮎	720	1,216	763	168.9	159.4
玉　川	8,200	7,952	8,420	97.0	94.4
南毛利	3,450	4,727	4,202	137.0	112.5
相　川	4,000	5,710	3,575	142.8	159.7
清　川	7,100	10,002	7,496	140.9	133.4
合　計	691,700	888,296	737,700	128.4	120.4

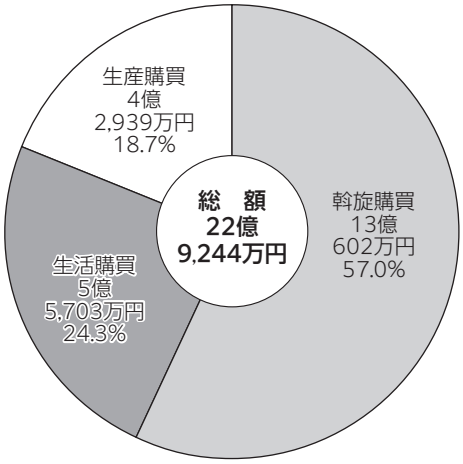
夢未市・グリーンセンター・取扱実績

（単位：千円、％）

店　舗	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
夢　未　市	361,500	463,533	397,426	128.2	116.6
グリーンセンター	149,500	191,090	171,837	127.8	111.2

■購買事業

生産購買では、中東情勢の緊迫化に伴う価格高騰に対し、関係機関と連携し情報収集を行いながら資材の安定供給に努めました。また、農薬についてはメーカー・全農と連携し、肥料については品目集約により低価格で供給しました。生活購買では、昨年に引き続き地域の方々の健康的な生活をサポートするための「健康ふれあい館」を開設するなど、ライフスタイルに寄り添った商品提案を行いました。



農機では、農業機械展示予約会や農繁期前に各地区へ出向く農業機械整備会の開催、農繁期休日対応による緊急時の修理対応に取り組みました。

燃料では、利用者のニーズを把握するため、ふれあい訪問やオーナー訪問を実施したほか、神奈川県ＬＰガス物価高騰対応支援金事業への参加により、ＬＰガス利用料金の値引きを実現し、利用者の負担軽減を図りました。

その結果、上半期購買実績は22億9,244万円の取扱高となりました。

支所別購買品取扱実績　（単位：千円、％）

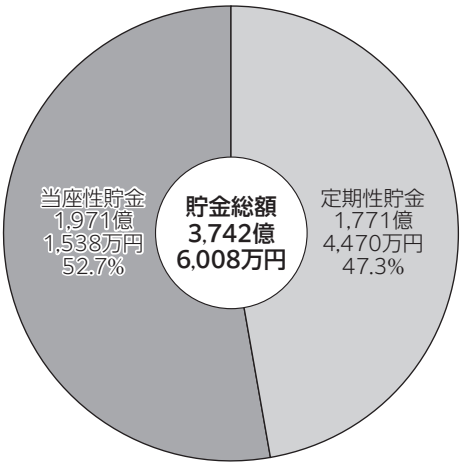
支　所	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
本　所	509,900	535,609	507,841	105.0	105.5
依　知	55,200	74,523	49,206	135.0	151.5
荻　野	30,900	46,616	33,954	150.9	137.3
睦　合	47,000	93,971	57,737	199.9	162.8
小　鮎	35,050	44,680	35,477	127.5	125.9
玉　川	23,500	23,995	21,362	102.1	112.3
南毛利	59,600	76,442	83,172	128.3	91.9
相　川	62,500	76,225	55,376	122.0	137.6
清　川	11,450	14,362	12,935	125.4	111.0
買取購買合計	835,100	986,428	857,065	118.1	115.1
斡旋購買	600,000	1,306,021	2,010,123	217.7	65.0
合　計	1,435,100	2,292,449	2,867,189	159.7	80.0

グリーンセンター・取扱実績　（単位：千円、％）

店　舗	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
グリーンセンター	44,700	44,471	44,909	99.5	99.0

■金融事業

1．貯　　金



令和８年３月より特別金利定期貯金「さくら定期貯金」「2027年国際園芸博覧会応援定期貯金」、７月より「ひまわり定期貯金」を販売しました。また、農業所得を申告（農業収入100万円以上）している農業者およびその農業専従者を対象とした「農業従事者応援定期貯金」、年金指定者を対象とした「マル得年金定期貯金」などの取り扱いにより、組合員・利用者満足度の向上と貯金残高の伸長に取り組み、貯金残高は3,742億6,008万円となりました。

あわせて、非対面チャネルの取引拡大を図るため、スマートフォン等で振込や残高照会、投資信託の取引等ができる「ＪＡネットバンク」・「ＪＡバンクアプリ」・「ＪＡバンクアプリプラス」の利用促進に取り組みました。

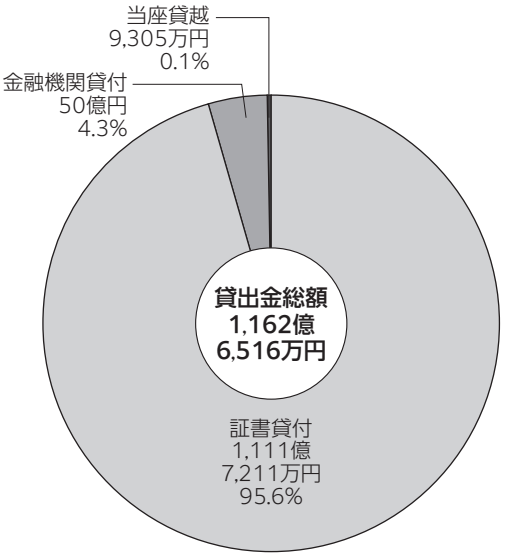
組合員・利用者の詐欺被害防止とマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策による金融サービスの不正利用防止に取り組んでいます。また、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力等との取引を排除するため、方針や規則を制定し、業務の適切性・健全性の確保に取り組んでいます。

支所店別実績

（単位：千円、％）

支所店	令和８年３月１日～令和８年８月31日					期首からの増減
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比	
本所	12,700,000	9,409,530	11,010,296	74.1	85.5	△ 1,519,098
依知	26,500,000	26,463,999	26,450,844	99.9	100.0	△ 50,048
荻野	36,870,000	36,659,677	36,550,334	99.4	100.3	△ 5,689
睦合	46,786,000	45,972,010	46,658,843	98.3	98.5	△ 593,135
小鮎	36,532,000	36,745,652	36,501,009	100.6	100.7	33,574
うち小鮎	26,852,000	27,249,263	26,878,286	101.5	101.4	111,692
うち宮の里	9,680,000	9,496,389	9,622,723	98.1	98.7	△ 78,118
玉川	20,468,000	20,715,614	20,458,773	101.2	101.3	195,455
南毛利	48,215,000	48,503,434	47,837,568	100.6	101.4	253,263
相川	43,920,000	44,003,819	43,724,150	100.2	100.6	△ 289,542
清川	15,795,000	15,951,192	15,975,575	101.0	99.8	436,451
愛甲	19,910,000	20,559,944	20,256,841	103.3	101.5	260,375
駅前	29,005,000	28,716,853	29,034,984	99.0	98.9	△ 206,162
北	19,525,000	19,892,304	19,353,654	101.9	102.8	466,992
依知南	20,820,000	20,666,054	20,763,249	99.3	99.5	△ 55,344
合計	377,046,000	374,260,086	374,576,126	99.3	99.9	△ 1,072,908

2．貸 出 金



提案型相談活動を実践することで、農業資金をはじめ、賃貸住宅等建築のための農住資金や住宅・マイカー・教育の個人ローンの取り扱いなど、組合員・利用者のニーズに応じた資金供給に取り組み、事業基盤・利用者基盤の維持拡大を図りました。また、住宅ローンに関しては、営業専任による住宅関連業者への推進強化に取り組みました。審査業務においては、事業性や返済能力を多角的に評価する体制の強化と個人情報取り扱いのさらなる堅確化、事務の効率化に取り組みました。

農業融資では、営農指導事業部門と連携を図り、農業所得増大・地域活性化応援プログラムを展開することで、農業の維持・発展につながる提案・相談の拡充に努めました。また、農業者の借入負担軽減のため、関係機関を通じた利子補給や保証料助成を実施しました。その結果、資金を必要とされる組合員や地域の皆さまの利用により、貸出金残高は1,162億6,516万円となりました。

支所店別実績

（単位：千円、％）

支所店	令和８年３月１日～令和８年８月31日					期首からの増減
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比	
本所	17,254,160	19,826,914	17,834,713	114.9	111.2	2,345,794
依知	12,523,000	12,851,973	12,361,633	102.6	104.0	385,115
荻野	8,253,100	7,805,202	7,411,815	94.6	105.3	△ 32
睦合	17,108,000	18,869,770	16,691,013	110.3	113.1	1,560,460
小鮎	5,223,000	5,285,931	5,256,803	101.2	100.6	36,408
玉川	1,705,000	1,947,583	1,396,665	114.2	139.4	261,253
南毛利	25,979,400	26,799,376	25,409,848	103.2	105.5	696,729
相川	15,068,400	14,834,379	14,515,157	98.4	102.2	69,821
清川	850,000	816,182	878,604	96.0	92.9	△ 35,424
駅前	6,775,040	7,227,850	6,939,407	106.7	104.2	△ 84,329
合計	110,739,100	116,265,164	108,695,662	105.0	107.0	5,235,799

㈱　金融特化型店舗の総合通帳を起因とする当座貸越残高は以下の基幹支所の実績に含みます。

愛甲支店 ➡ 南毛利支所　　宮の里支店 ➡ 小鮎支所

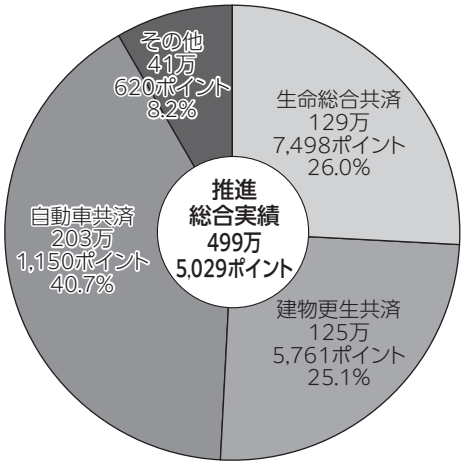
北支店 ➡ 依知支所　　依知南支店 ➡ 依知支所

■共済事業

各種事業の提案活動を通じて、組合員や利用者へ保障点検を実施し、「ひと・いえ・くるま・農業」をトータルで支えるＪＡ共済の普及を推進しました。

昨今の金融環境の変化に伴い、相続や老後の資産運用に対するニーズが高まる中、一時払系共済を活用し将来を見据えた備えを提案しました。

「ひと」分野においては、最新の医療環境の変化を踏まえ、医療共済やがん共済への保障切り替えを基本とした見直しを行いました。あわせて、生活習慣病や介護など、多様なリスクに対応する保障の拡充を図り、一人ひとりのライフステージに応じたプランの提案に取り組みました。



また、家計見直しの意識が高まっていることを捉え、自動車共済の「お見積りキャンペーン」を重点的に展開し、新規契約の拡大を図りました。

(1)　推進総合実績（生命総合、建物更生、自動車、自賠責、火災、傷害、農業者賠償責任共済）・保有高支所店別実績

（単位：ポイント、%、千円）

支所店	令和８年３月１日～令和８年８月31日					
	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比	保有高
依　知	673,750	821,789	741,868	122.0	110.8	99,253,103
荻　野	429,000	546,494	560,865	127.4	97.4	53,565,989
睦　合	566,500	778,102	740,677	137.4	105.1	74,197,421
小　鮎	354,750	505,879	581,418	142.6	87.0	54,839,847
玉　川	228,250	282,338	312,813	123.7	90.3	25,920,060
南毛利	684,750	820,286	871,975	119.8	94.1	116,944,478
相　川	511,500	688,505	689,012	134.6	99.9	87,572,320
清　川	121,000	159,994	157,579	132.2	101.5	16,529,672
駅　前	308,000	391,638	361,740	127.2	108.3	38,465,283
合　計	3,877,500	4,995,029	5,017,950	128.8	99.5	567,288,176

㈱　推進総合実績は、共済種類を統一評価できるように、共済金額等に所定の換算率を乗じて算出する指標である「推進ポイント方式」における実績です。

⑵ 事業基盤（長期基盤・自動車基盤）・自賠責共済

支所店別実績

（単位：ポイント、％）

支所店		令和８年３月１日～令和８年８月31日				
		計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比
生命万一基盤	依知	35,750	132,829	32,059	371.5	414.3
	荻野	22,550	42,386	43,067	188.0	98.4
	睦合	50,600	150,394	104,998	297.2	143.2
	小鮎	18,700	72,872	33,768	389.7	215.8
	玉川	14,850	45,000	27,664	303.0	162.7
	南毛利	51,150	166,615	101,397	325.7	164.3
	相川	30,250	161,464	67,069	533.8	240.7
	清川	7,150	25,110	15,132	351.2	165.9
	駅前	16,500	31,238	28,903	189.3	108.1
	合計	247,500	827,911	454,062	334.5	182.3
生存保障基盤	依知	37,180	29,299	40,002	78.8	73.2
	荻野	30,855	16,170	32,969	52.4	49.0
	睦合	42,075	55,449	58,624	131.8	94.6
	小鮎	23,100	31,379	41,854	135.8	75.0
	玉川	14,630	14,466	23,351	98.9	62.0
	南毛利	42,075	50,211	55,032	119.3	91.2
	相川	23,100	66,938	40,710	289.8	164.4
	清川	6,655	13,235	5,139	198.9	257.5
	駅前	16,830	16,314	9,467	96.9	172.3
	合計	236,500	293,464	307,151	124.1	95.5
年金基盤	依知	11,550	14,282	2,200	123.7	649.2
	荻野	9,900	3,160	5,000	31.9	63.2
	睦合	13,200	22,500	42,992	170.5	52.3
	小鮎	3,850	7,790	3,425	202.3	227.4
	玉川	3,850	678	7,660	17.6	8.9
	南毛利	13,200	21,640	27,945	163.9	77.4
	相川	11,000	12,090	25,770	109.9	46.9
	清川	1,100	4,200	300	381.8	1,400.0
	駅前	3,850	1,638	1,680	42.5	97.5
	合計	71,500	87,978	116,972	123.0	75.2

支所店別実績

（単位：ポイント、台、%）

支所店		令和８年３月１日～令和８年８月31日				
		計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比
建物基盤	依知	108,900	156,094	192,852	143.3	80.9
	荻野	54,450	126,603	133,216	232.5	95.0
	睦合	81,400	149,152	175,102	183.2	85.2
	小鮎	57,200	72,925	95,904	127.5	76.0
	玉川	24,200	44,753	62,129	184.9	72.0
	南毛利	125,400	126,703	274,143	101.0	46.2
	相川	99,550	114,820	242,975	115.3	47.3
	清川	15,400	30,890	50,364	200.6	61.3
	駅前	38,500	108,997	110,665	283.1	98.5
	合計	605,000	930,941	1,337,353	153.9	69.6
自動車基盤	依知	34,100	62,817	27,241	184.2	230.6
	荻野	37,895	43,686	32,424	115.3	134.7
	睦合	48,730	68,716	48,420	141.0	141.9
	小鮎	28,710	30,233	48,998	105.3	61.7
	玉川	18,865	18,905	21,435	100.2	88.2
	南毛利	61,325	52,126	60,117	85.0	86.7
	相川	28,270	58,469	28,580	206.8	204.6
	清川	10,340	1,024	4,502	9.9	22.7
	駅前	34,265	19,935	28,185	58.2	70.7
	合計	302,500	355,916	299,905	117.7	118.7
自賠責共済	依知	450	420	431	93.3	97.4
	荻野	220	245	229	111.4	107.0
	睦合	310	379	332	122.3	114.2
	小鮎	230	257	239	111.7	107.5
	玉川	150	172	158	114.7	108.9
	南毛利	290	314	310	108.3	101.3
	相川	320	298	305	93.1	97.7
	清川	80	95	89	118.8	106.7
	駅前	130	125	135	96.2	92.6
	合計	2,180	2,305	2,228	105.7	103.5

㈱　１．事業基盤（長期基盤・自動車基盤）は、共済種類を統一評価できるように、共済金額等に所定の換算率を乗じて算出する指標である「推進ポイント方式」における実績です。自賠責共済は台数における実績です。

２．事業基盤（長期基盤・自動車基盤）は、下記共済の新規契約が対象です。

・生命万一基盤…終身共済、一時払終身共済（平28.10）、引受緩和型終身共済、養老生命共済、一時払養老生命共済、こども共済、定期生命共済、定期生命共済（逓減期間設定型）、医療共済に付された定期特約等にかかる転換契約以外

・生存保障基盤…医療共済（定期特約等は生命万一基盤に含める）、引受緩和型医療共済、がん共済、介護共済、一時払介護共済、生活障害共済（一時金型、定期年金型）、特定重度疾病共済、認知症共済にかかる転換契約・乗換契約以外

・年金基盤…年金共済

・建物基盤…建物更生共済

・自動車基盤…自動車共済

■総合相談事業

支所店の総合相談課を中心に、組合員世帯の資産形成・資産管理・相続・事業承継など、さまざまな相談に対してスピーディーかつワンストップで対応できる体制の整備に取り組むとともに、顧問弁護士・契約税理士・推薦司法書士などの各種専門家と連携した「三位一体」の相談体制のもと、組合員・利用者に寄り添った総合相談事業を展開しました。

事業承継に関する相談においては、所有資産の把握と財産診断を実施することで、円滑な遺産分割や節税対策の提案に取り組みました。

また、事業承継者である次世代層に対して、資産形成・運用を目的としたNISA（少額投資非課税制度）やファンドラップ（専門家がお客様の意向に合わせて資産配分を提案・運用・管理する投資一任サービス）の提案を通じて、関係性の強化を図りました。

⑴　組合員世帯の所有資産の把握とともに、相続シミュレーションによる節税対策の提案など、スムーズな事業承継を見据えたさまざまな相続対策を提案しました。

提案・相談実績（令和８年３月１日～令和８年８月31日）

項　目	実　績
相続・事業承継、資産形成・運用相談対応件数	114件
相続税シミュレーション提案件数	73件
遺言信託受託・民事信託組成件数	9件
相続手続き相談対応件数	38件

⑵　相続・財産管理・事業承継など、組合員・利用者からの多岐にわたる相談に対して的確に対応するため、法務・税務・遺言信託・不動産等に関する専門的な知識を備えた職員の養成を目的に実務経験や職務に合わせた研修会を実施しました。

⑶　税制改正を踏まえ、今だからこそ知っておくべき生前整理や相続対策など、組合員のニーズに対応したセミナーを開催しました。

⑷　複雑化する経理事務に対応したきめ細かな記帳代行業務によって、組合員の適正な税務申告と経営改善指導に取り組みました。

⑸　土地の有効活用、空室対策等の不動産事業にかかる相談に対して厚農商事㈱と連携し、収益改善提案に取り組みました。

■高齢者福祉事業

高齢者とその家族が住み慣れた地域で健康で心豊かなくらしが実現できるよう、本所および支所において介護予防運動にかかる講座を開催しました。また、助け合い活動すずしろにおいては「いきいきクラブ（ミニデイサービス）」を５地区で開催しました。訪問介護事業は、訪問介護員の研修を強化し、安心して利用できるサービスを提供しました。

ＪＡあつぎすずしろサービス提供実績（令和８年３月１日～令和８年８月31日）（単位：時間）

区分		サービス提供時間
介護保険対応	身体介護	2,245.5
	生活援助	1,530.0
	介護予防	1,696.5
	小計	5,472.0
介護保険対応外		3.5
合計		5,475.5

■葬祭事業

家族葬・一日葬が新しい葬儀形態として定着する中、葬家の意向を尊重しつつ、受注時には一般葬の提案を行い、多様化する葬家のニーズに対応しました。また、随時葬儀個別事前相談を行い、組合員・利用者が安心して葬儀を施行できるよう対応したほか、生産農家を応援するため、厚木産蒸し大豆を取り入れた会葬品の提供や足柄茶を使用した返礼品を推奨しました。

葬祭事業取扱実績

（単位：件、％）

	令和８年３月１日～令和８年８月31日				
	計画	実績	前年実績	計画対比	前年対比
取扱件数	212	206	183	97.2	112.6

■組合員組織対策

生産組合については、支所経済課長を中心に構成する組織基盤研究チームにて、各生産組合の現状や課題について情報を共有し、解決に向けた協議を継続的に実施しました。

また、生産組合長会の会議において、厚愛地区ＪＡ合併にかかる集落組織（本部組織）の統合に関する対応について情報共有を図るとともに、統合に向けた準備を進めました。

「農とくらしをともに支えるパートナー」として位置付ける准組合員との関係性を深めるため、准組合員を対象とした野菜の栽培体験や料理教室、相続対策セミナーを開催するとともに、アンケートによる意見聴取と地域農業やＪＡへの理解促進に取り組みました。

仮決算の状況

■貸借対照表

令和８年８月31日現在

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
１　信用事業資産	373,693,438	１　信用事業負債	377,794,844
２　共済事業資産	820	２　共済事業負債	483,502
３　経済事業資産	245,020	３　経済事業負債	240,065
４　雑資産	415,307	４　雑負債	863,209
５　固定資産	7,365,318	５　諸引当金	1,153,294
６　外部出資	19,158,518	負債の部合計	380,534,916
７　繰延税金資産	1,881,077	（純資産の部）	
		１　組合員資本	26,049,651
		(1)　出資金	2,325,114
		(2)　利益剰余金	23,724,537
		２　評価・換算差額等	△ 3,825,067
		純資産の部合計	22,224,584
資産の部合計	402,759,501	負債及び純資産の部合計	402,759,501

■損益計算書

令和８年３月１日から令和８年８月31日まで

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
事業総利益	2,004,010	事業管理費	1,757,700
信用事業総利益	1,291,337	事業利益	246,309
共済事業総利益	404,514	事業外収益	163,818
購買事業総利益	106,730	事業外費用	2,568
販売事業総利益	113,042	経常利益	407,560
その他の事業総利益	132,598	特別利益	11,578
指導事業収支差額	△ 44,213	特別損失	15,343
		税引前当期利益	403,794
		法人税、住民税及び事業税	103,400
		当期剰余金	300,394
		当期首繰越剰余金	1,951,643
		当期未処分剰余金	2,252,037

■ 農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

（単位：千円）

債権区分		債権額	保全額			
			担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和8年2月末	—	—	—	—	—
	令和8年8月末	—	—	—	—	—
危険債権	令和8年2月末	51,899	10,249	41,649	—	51,899
	令和8年8月末	50,653	9,885	40,767	—	50,653
要管理債権	令和8年2月末	—	—	—	—	—
	令和8年8月末	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権	令和8年2月末	—	—	—	—	—
	令和8年8月末	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権	令和8年2月末	—	—	—	—	—
	令和8年8月末	—	—	—	—	—
小計	令和8年2月末	51,899	10,249	41,649	—	51,899
	令和8年8月末	50,653	9,885	40,767	—	50,653
正常債権	令和8年2月末	111,078,650				
	令和8年8月末	116,316,687				
合計	令和8年2月末	111,130,549				
	令和8年8月末	116,367,340				

㈱ 1．破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

2．危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

3．要管理債権
4．「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と5．「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

4．三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権並びに危険債権に該当しないものをいいます。

5．貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権並びに三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

6．正常債権
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

■単体自己資本比率

令和８年２月末	令和８年８月末
15.54%	15.25%

㈱　１．「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第２号）に基づき算出しています。
　　２．令和８年８月末の自己資本比率算定上、期末の外部流出予定額は未定であることから控除していません。

■主要勘定の状況

（単位：千円、％）

	令和７年８月末	令和８年２月末	令和８年８月末	計画対比
貯　　金	374,576,126	375,332,995	374,260,086	99.3
貸　出　金	108,695,662	111,029,365	116,265,164	105.0
預　　金	221,515,177	217,288,690	211,860,725	96.6
有価証券	42,935,603	44,043,713	43,165,227	90.9

㈱　計画対比は、８月末計画と実績との対比です。

■有価証券時価情報

（単位：千円）

種　　類	令和８年２月末			令和８年８月末		
	貸借対照表計上額	取得原価または償却原価	評価差額	貸借対照表計上額	取得原価または償却原価	評価差額
売買目的	―	―	―	―	―	―
満期保有目的	―	―	―	―	―	―
そ　の　他	44,043,713	47,883,634	△ 3,839,921	43,165,227	48,467,510	△ 5,302,283
合　　計	44,043,713	47,883,634	△ 3,839,921	43,165,227	48,467,510	△ 5,302,283

㈱　貸借対照表計上額は末日における市場価格等に基づく時価としています。

自己改革の実践計画　取組報告

令和８年８月末現在



ＪＡあつぎは、組合員との対話を通じて「自己改革工程表」を策定・実行・進捗管理を行う「自己改革実践サイクル」への対応に取り組んでいます。地域にとってなくてはならないＪＡであり続けるため、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本とした不断の自己改革を実践し、持続可能な組織・経営基盤の確立・強化をすすめてまいります。

農業者所得増大に向けた主な取り組み

委託販売・買取点数の拡大を通じた売上増加

	年間目標	８月末実績
委託販売・買取数量	1,350,000点	705,122点 (52.2%)

共計取扱数量拡大を通じたコスト低減

予約注文数量	年間目標	８月末実績
肥料	26,000袋	9,267袋 (35.6%)
農薬	11,500個	10,321個 (89.7%)



地域の活性化に向けた主な取り組み

地区運営委員会による農業体験などの開催

	年間目標	８月末実績
開催回数	９回	５回 (55.6%)

移動販売車による買い物支援

	年間目標	８月末実績
利用者数	11,000人	4,998人 (45.4%)

組合員との対話・意思反映に向けた主な取り組み

職員による組合員訪問

	年間計画	８月末実績
訪問人数	6,800人	1,547人 (22.8%)



准組合員向け活動でのアンケートによる意見聴取

	年間計画	８月末実績		年間計画	８月末実績
実施回数	12回以上	３回 (25.0%)	参加人数	350人以上	133人 (38.0%)

経営基盤確立・強化に向けた主な取り組み

組合員の事業利用拡大に向けた総合相談体制の強化

	年間目標	８月末実績
相続シミュレーション提案件数	100件	73件 (73.0%)



㈱　括弧内数値は８月末実績と年間目標もしくは年間計画との対比になります。

地域貢献活動

全般に関する事項

協同組合の特性

ＪＡあつぎは、厚木市・清川村を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の皆さまが組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、農業の活性化に資する地域金融機関です。

当ＪＡの資金は、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆さまにご融資し、暮らしや事業のお手伝いをさせていただいております。

当ＪＡは、地域の一員として、農業の発展と健康で心豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、ＪＡの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、環境・文化・健康・福祉への貢献活動を通じて、安心して暮らせる明るい社会づくりに努めています。

１．地域からの資金調達の状況

⑴　貯金・定期積金残高

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまからお預かりした貯金の残高は3,742億6,008万円（うち定期積金の残高は19億322万円）となっております。

資格別貯金残高の内訳は表のとおりです。

（単位：千円）

組合員等	305,663,263
その他	68,596,823
合計	374,260,086

⑵　貯金商品

目的や預入期間、金額に合わせてご利用いただける各種貯金の取り扱いをはじめ、公的年金受取指定者を対象とした特別金利定期貯金「マル得年金定期貯金」や、農業所得者向け金利上乗せ定期貯金「農業従事者応援定期貯金」などをご用意しております。

２．地域への資金供給の状況

⑴　貸出金残高

組合員をはじめ、地域の利用者皆さまへの貸出金の残高は1,162億6,516万円となっております。当ＪＡは地域金融機関として、地域経済の活性化や豊かな暮らしの実現に貢献するため、賃貸事業資金や個人向け融資に積極的に対応しています。

資格別貸出金残高の内訳は表のとおりです。

（単位：千円）

組合員等	91,185,070
その他	25,080,094
（うち地方公共団体等）	14,731,334
（うち金融機関）	5,000,000
合計	116,265,164

⑵　農業制度融資

農業制度資金とは、農業者が経営の合理化および安定強化等を図ろうとする場合や、新しい分野への投資を図る場合などに、必要な資金の融資を低利で促進することにより、農業の振興、育成、活性化を図ることを目的として創設されたものです。農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでＪＡが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあります。

（単位：件、千円）

種類	件数	残高
かながわ都市農業推進資金	1	20

⑶　融資商品

組合員への貸し出しをはじめ、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や事業資金などの取り扱いのほか、各種ローンを取り揃えています。

また、農業者の皆さまには、農業経営に必要なＪＡ独自の資金である営農資金をご用意しています。

（単位：件、千円）

種類	件数	残高
ＪＡ農機ハウスローン	122	274,081
アグリマイティー資金	8	31,791

3．文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

⑴　文化的・社会的貢献に関する事項

環境問題への取り組み

■ 香典返し・引出物の簡易包装

ＪＡあつぎグリーンホールでは、葬儀での香典返しや法事の引出物の簡易包装に努めるなど、環境に配慮しています。

■ 環境に配慮した機器の斡旋

地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO_2）の排出量を少なくする省エネ型ガス給湯器をはじめ、住宅の複層ガラス化や太陽光発電システム・太陽熱温水器の設置を推奨し、環境にやさしい安全・安心な省エネ生活システムの構築をすすめています。

■ レジ袋削減への取り組み

夢未市・グリーンセンターでは、お客様にマイバッグ等の持参によるお買物を推奨し、プラスチックごみの削減を推進しています。

■ 古切手・エコキャップ・ベルマーク収集

女性部を中心に古切手・ペットボトルのキャップの回収やベルマークの収集を行い、さまざまな地域・社会貢献活動に活用しています。

地域活動・イベントへの参加

■ 移動販売車「ゆめみちゃん号」の展開

ＪＡあつぎ管内において、買い物に不便を感じている方や地域住民に対し、新鮮な地場農畜産物を届けることを目的に、移動販売車「ゆめみちゃん号」を運行することで、地産地消の推進や農家所得の向上に取り組んでいます。

■ 学校給食への取り組み

次世代を担う子どもたちへ、学校給食を通して食の大切さを伝えるため、厚木市内の小・中学校へ地場農畜産物を供給しています。

■ いきいきクラブ（ミニデイサービス）の開催

高齢者の寝たきりや介護を予防するため、高齢者の生きがいを支援し、健康で心豊かに生活できる地域づくりを目指し、５支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）を開催しています。

■ 認知症サポーター育成の取り組み

認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」を育成する「認知症サポーター養成講座」を職員や地域住民向けに開催しています。認知症サポーターを一人でも増やし、安心して暮らせる街づくりに取り組んでいます。

■ 高齢者福祉への取り組み

高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護予防運動等の研修会を開催しています。

■「集い処」の開設

在宅支援を中心とした高齢者福祉事業を進めていくことを踏まえ、一部支所において高齢者らの“茶飲み場”として「集い処」を開設しています。

■「かながわ未病改善協力制度」の協力団体として登録

ＪＡあつぎ健康寿命100歳プロジェクトと題し、食・運動・社会参加を通した未病改善に取り組んでいます。

■ 特技技能を活かした交流

ＪＡあつぎは、地域の伝統的な生活文化や郷土料理、食とくらしに関する新たな技能等の伝承に向け、「ふるさと先生」と「食とくらしのマイスター」制度を設け、地域の各種講習会に派遣しています。

■ **あつぎ鮎まつりへの協賛**

厚木市が目指す“共創のまち”を実現するため、人・企業にとって魅力のあるまちを創造することを目的に、厚木市・厚木商工会議所等とともに、「かながわのまつり50選」にも選ばれている「あつぎ鮎まつり」に協賛しています。

■ **厚木市「子育てパスポートAYUCO事業」への参加**

地域ぐるみで“子育てを応援しよう！”という趣旨のもとに厚木市内で展開されている子育て支援事業「子育てパスポートAYUCO事業」に参加しています。ＪＡあつぎはサポーター店舗として子育て世帯を支援しています。

■ **子ども雑誌「ちゃぐりん」を小学校へ寄贈**

ＪＡや農業・自然環境への理解を深めるため、ＪＡあつぎ管内（厚木市・清川村）の小学校に（一社）家の光協会発行の子ども雑誌「ちゃぐりん」を寄贈しています。

■ **食農教育教材本**

ＪＡバンクグループと協力し、食農教育応援事業として教材本を管内25校の小学校に贈呈しました。

■ **ＪＡ共済書道コンクール**

ＪＡ共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、ＪＡ共済の理念でもある相互扶助の精神を伝えるため、毎年、小・中学生および高校生を対象に書道コンクールを実施しています。

■ **地域金融教育の取り組み**

金融教育は、経済・社会環境の変化を踏まえて学習指導要領が拡充されるなど、その重要性が高まっており、学校や家庭からのニーズに応えるため幅広い年齢層に対して金融教育を実施しています。

■ **ボランティア活動「美化清掃」への参加**

厚木市が展開するボランティア活動「厚木市まち美化パートナー制度」の美化清掃に全店舗で参加し、店舗周辺の清掃活動を行っています。

■ **持続可能な社会の実現に向けた取り組みを展開**

持続可能な地域農業・地域社会づくりのため、厚木市と市内の企業や大学で組織される「厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク」に参加するとともに、同市が設立した「あつぎSDGsパートナー」に登録し、組合員組織と協力して、SDGsの達成に向けた取り組みを行っています。

■ **スポーツを通じた子どもたちの健全育成**

NPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブが市内全小学校を対象とした「巡回授業パートナー」に参画しています。また、厚木市少年野球協会や厚木王子高校ソフトボール部と連携し、地域貢献に取り組んでいます。

地域防犯・防災・交通事故防止等への取り組み

■ **AED（自動体外式除細動器）を全店舗に設置**

病気や事故等の緊急事態に備え、AEDを全店舗に設置しています。

■ **災害時における生活必需品物資の調達に関する協定締結**

災害時における食糧の安定供給にかかわり、市民の生命および身体を守るべく、厚木市と災害協定を締結しています。

■ **消防庁消防団協力事業所**

職員が消防団員として活動しやすい環境を整備している「消防庁消防団協力事業所」として、地域住民が安心して生活できる街づくりの一端を担っています。

■ **防災・防火訓練の実施**

お客さまの安全確保のため、本所・グリーンホール・各店舗において、防災・防火訓練を実施しています。

■ **厚木警察署管内安全運転管理者会主催行事への参加**

安全運転管理業務の適正な運営を推進し、人々を交通事故から守るため、同会主催の事故防止コンクールに参加し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組み、交通事故防止の徹底を図っています。

■ **交通安全運転講習会の開催**

職員の交通ルールの遵守や交通マナーの向上ならびに交通事故防止の徹底を図ることを目的に、厚木警察署より講師を招き交通安全運転講習会を実施しています。

■ **地域見守り活動に関する協定を締結**

業務で個人宅を訪問した際、命の危機の恐れがある場合に市町村などに通報し、高齢者らの孤立死や孤独死を未然に防ぐことを目的に、地域貢献と行政支援の一環として、神奈川県と地域見守り活動に関する協定を締結しています。

募金協力

■ **募金協力**

日本赤十字社が行っている災害救護、海外救援などの活動のなかで、被災者や被災地等の救援に役立てていただくよう、毎年活動資金への寄附をしています。

各種相談会

■ **法務・税務相談**

ＪＡあつぎの顧問弁護士（１名）による「法務相談会」を毎月２回、ＪＡあつぎの契約税理士（８名）による「税務相談会」を年12回開催しています。

■ **年金相談**

年金制度や手続き等について、社会保険労務士がご相談をお受けする「年金相談会」を支所店ごとに開催しています。

■ **相続・遺言・民事信託相談**

組合員・利用者の相続や遺言、民事信託（家族信託）など次世代への事業承継についてのさまざまなお悩みに、本支所店の総合相談担当者が各種専門家と「三位一体」の相談体制で対応しています。

■ **結婚相談**

数多くの良縁の誕生を願い、結婚相談のお手伝いを行っています。専任の結婚相談員が丁寧に対応しています。

■ **福祉相談**

在宅での介護に関するお悩みに、福祉課職員が相談に応じています。

■ **葬儀事前相談**

葬儀の流れや形態、費用について葬祭ディレクターが個々の相談に随時応じています。

⑵ 利用者ネットワーク化への取り組み

■ **助け合い組織 「ＪＡあつぎ助け合い活動すずしろ」**

設　立：平成12年４月　　会員数：48名　令和８年８月末現在

ホームヘルパー有資格者等で構成されている助け合い組織です。組合員ならびに地域住民に対し、各支所でいきいきクラブ（ミニデイサービス）等のボランティア活動を行うなど、安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに努めています。

⑶ 情報提供活動

■ **情報誌の発行**

ＪＡからのお知らせや組合員・地域・農業に関するさまざまな話題を掲載した情報誌「グリーンアートあつぎ」（毎月）および「グリーンページ」（年３回）、農業に対する理解促進を目的とした「ＪＡあつぎコミュニティー」（年２回）を発行しています。

■ **ホームページによる情報発信**

ホームページでは、組合員・地域・農業に関するさまざまな話題やディスクロージャー誌を掲載するとともに、家庭菜園での野菜の育て方など暮らしに役立つ情報のほか、ＪＡの事業内容や商品キャンペーンのお知らせなどを掲載しています。また、スマートフォンやタブレット端末にも対応しています。

■ **インスタグラムやYouTube、LINEなどSNSを利用した情報発信**

インスタグラムでは、地域農業や地場農畜産物の情報、各種活動の様子など、旬の話題を写真と動画で発信するとともに、公式YouTubeチャンネル「ゆめみちゃんねる」を開設し、食と農などに関する親しみやすい動画を広く発信しています。さらに、通信アプリ「LINE」の夢未市公式アカウントを開設し、旬の地場農畜産物やイベント情報のほか、各種割引券やプレゼント特典など、お得な情報をお届けしています。

■ **マスメディア等への情報提供**

ＪＡが提供するtvkのテレビ番組「かながわ旬菜ナビ」に企画取材協力し、管内の農業や観光スポットなどを紹介しています。また、日本農業新聞への記事送稿や地元タウン紙等への情報提供により、地域の皆さまへの情報発信に取り組んでいます。

■ **ディスクロージャー誌の発行**

積極的な情報開示を通じて経営の透明性を高め、ＪＡあつぎに対する理解を深めていただくため、半期ごとにディスクロージャー誌を発行しています。

４．店舗体制

名　　称	店　舗　数
本　　所	1
支　　所	8
支　　店	5
店　　舗 (夢未市・グリーンセンター)	2

子　会　社　報　告

厚農商事株式会社営業報告

令和８年３月１日～令和８年８月31日

１．事業概況

建築費高騰が長期化する昨今の市況において、施設建設・営繕事業では依然として予断を許さない状況が続いています。このような情勢下、共同住宅事業においては、安定した利回りの確保を大前提としつつ、次世代への円滑な継承を見据えた高付加価値な提案を行いました。また、個人住宅においても、顧客ニーズに合わせコストパフォーマンスに優れたメーカーを選定することで、計画および前年実績を大幅に上回る実績となりました。売買事業においては、資産保全や相続対策としての投資用物件に対する需要が堅調です。こうしたニーズに対し、個々の顧客の背景を深く捉えた物件提案に注力したことが奏功し、計画を上回る実績となりました。賃貸借事業においては、仲介業者へのきめ細やかな営業活動を通じて入居者募集を強化する一方、物件のリノベーションを通じて入居者から選ばれる質の高い住環境の提供に注力しました。さらに、駐車場の斡旋では、利用者の利便性を飛躍的に高めるインターネット契約への転換を推進したことで、業務効率化と成約率の向上を両立させ、計画を上回る結果となりました。

２．主要事業実績

⑴　施設建設・営繕事業

（単位：件、千円、％）

項　　目	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
施設建設取扱件数	11	24	26	218.2	92.3
営繕取扱件数	480	887	855	184.8	103.7
施設事業供給金額	993,000	3,172,113	2,232,272	319.4	142.1

⑵　売買事業

（単位：件、千円、％）

項　　目	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
土地建物取引件数	27	39	49	144.4	79.6
土地建物取扱金額	1,130,000	1,667,447	2,778,875	147.6	60.0

⑶　賃貸借事業

（単位：件、％）

項　　目	計　画	実　績	前年実績	計画対比	前年対比
賃貸借物件仲介件数	1,916	2,440	2,198	127.3	111.0

3．貸借対照表

令和８年８月31日現在

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
1．流動資産	**876,968**	**1．流動負債**	**138,848**
現金及び預金	556,357	**2．固定負債**	**122,719**
その他の資産	320,658	**負債合計**	**261,568**
貸倒引当金	△46	（純資産の部）	
2．固定資産	**146,652**	**1．株主資本**	**762,052**
⑴有形固定資産	18,233	⑴資本金	50,000
⑵無形固定資産	1,121	⑵利益剰余金	712,052
⑶投資その他の資産	127,298		
		純資産合計	**762,052**
資産合計	**1,023,621**	**負債・純資産合計**	**1,023,621**

4．損益計算書

令和８年３月１日～令和８年８月31日

（単位：千円）

科目	金額
売上高	**617,739**
売上原価	**370,807**
売上総利益	**246,931**
販売費及び一般管理費	**126,093**
営業利益	**120,837**
営業外収益	**5,112**
営業外費用	**—**
経常利益	**125,949**
特別利益	**909**
特別損失	**0**
税引前当期純利益	**126,858**
法人税、住民税及び事業税	**46,912**
当期純利益	**79,946**

組合理念

（組合が存在する意義、理由、目標を表わしたものです）

夢ある未来へ
人とともに、街とともに、大地とともに…

『**夢ある未来**』とは

人とともに

人とのふれあいを通じ、人々の健康で心豊かな生活を築いていきます。

街とともに

地域住民との交流を深め、いろいろな活動を通して住みよい街づくりをすすめていきます。

大地とともに

自然を愛し、緑豊かな地域農業をすすめていきます。

『 **人** 』とは、組合員をはじめとする地域住民を表わします。

『 **街** 』とは、人々の生活基盤であり、地域社会を表わすものです。

『**大地**』とは、豊かな農業環境をつくり出す、緑・水・土などの自然そのものです。

経営方針

（組合理念に基づいて、組合の資源（人、金、物など）をいかに有効に活用し、
成果を上げるかという基本になる考えを表わしたものです）

■ さまざまな生活文化活動を通じ、住みよい地域社会づくりに貢献する。

■ 経営の安定と体制強化をはかり、時代の変化に対応した事業を展開する。

■ 役職員の資質を更に高め、利用者ニーズに応えられる人材を育成する。

厚木市農業協同組合

ホームページ　https://www.ja-atsugi.or.jp/

本　所／厚木市水引2-9-2 TEL.046-221-1666(代)　ATM1台

総務部	
庶務課	046-221-1666
人事課	046-221-1666
総合企画部	
企画課	046-221-1512
管理課	046-221-1512
情報システム課	046-221-1512
事業改革対策室	
	046-221-1666
金融部	
貯金課	046-221-1755
業務課	046-221-1755
融資課	046-221-1755
資金運用課	046-221-1755
共済部	
共済課	046-221-7115
査定課	046-221-2866
総合相談部	
総合相談課	046-259-7776
推進課	046-259-7776

リスク管理部	
リスク管理課	046-221-7292
コンプライアンス課	046-221-7292
監査室	
検査課	046-221-1666
経済部	
購買課	046-221-0454
燃料課	046-221-0454
農機課	046-221-0454
葬祭課	046-221-1800
指導販売部	
総合販売課	046-221-2273
営農指導課	046-221-2273
地域農業対策課	046-221-2273
組織文化部	
組織基盤対策課	046-221-6881
生活ふれあい課	046-221-6881
福祉課（すずしろ）	046-225-7716

依知支所	厚木市関口833	046-245-1303	ATM1台
荻野支所	厚木市鳶尾5-26-28	046-241-1415	ATM2台
睦合支所	厚木市妻田北4-8-1	046-224-1311	ATM2台
小鮎支所	厚木市飯山2336-3	046-241-1806	ATM1台
玉川支所	厚木市小野2444	046-248-0316	ATM1台
南毛利支所	厚木市温水948-1	046-247-5270	ATM2台
相川支所	厚木市酒井3306-1	046-228-3325	ATM2台
清川支所	愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-5	046-288-1336	ATM1台
愛甲支店	厚木市愛甲1-4-12	046-247-6077	ATM1台
駅前支店	厚木市泉町3-13	046-228-0148	ATM2台
宮の里支店	厚木市宮の里1-2-7	046-241-1172	ATM1台
北支店	厚木市下川入321-1	046-246-0211	ATM2台
依知南支店	厚木市下依知2-1-1	046-246-4611	ATM1台
夢未市	厚木市温水255	046-290-0141	
グリーンセンター	厚木市三田1827-1(営農経済センター「あぐりべぇ」内)	046-241-6150	
ライスセンター	厚木市三田1827-1(営農経済センター「あぐりべぇ」内)		
アンテナショップ Tomoni	厚木市泉町3-13		

厚農商事株式会社

ホームページ https://www.atsunou.co.jp/

JAあつぎ本所内1階	厚木市水引2-9-2	046-224-1555（営業第1課・2課） 046-240-0227（賃貸管理課）

厚木市都市農業支援センター

JAあつぎ本所 指導販売部内	厚木市水引2-9-2	046-221-5511